

その他二十五種の製造工業増加總數の割合は次の如くて  
 (昭和五年を一〇〇として)

昭和六年一〇二 昭和七年一〇九 昭和八年一二五、七 昭和九年一三三  
 八と増加を示してゐるが、その中でも特に軍需品、輸出品の増加が著しいのである。こうした生産の増加に歩調を合せて、資本家共は工場の新設設備の擴張を計畫し、スデニ新設されつつある會社は八年一四七、九年は六月までに一一八社に對してゐるが、斯くの如く新設されてゐる會社は化學、機械、金屬等、軍需品、輸出入貿易に關係のあることもまた當然である。では以上のやうに生産設備が擴張されてゐることによつて、生産はドンナ工合に増大してゆくであらうか、

人絹について計算されたところによれば(經濟情報社一

株式投資年鑑(九年版)

	會社數	數	量
九年六月末	一四	二一六、五噸	
九年十二月末	一七	二六九、五	
十年六月末	二八	三五〇、〇	

となり一年後の十年六月には實に、六割一分七厘の生産増加となるのである。また硫酸についてみれば内地、朝鮮、滿州における硫酸製造會社及びガラス製鐵會社等で現在年に百萬キログラム製造されてゐるのが、各社の新設擴張によつて、十年十二月末には百五十萬キログラム製造するやうになる。そして斯の如き増産計畫は各工場ともにグンダン起してゐるのである。而しながら、工場が新設され、設備が擴大されて商品がグンダン増大して